



No.94 2010・2・15

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM

発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



ISHIKAWA-KEN
HISTORY
MUSEUM

れきはく

企画展

れきはくコレクション 2009



鍔



鍔・穂先



鍔・塩首

会 期 2月20日(土)~3月22日(月・祝)
会 場 第1特別展示室
開館時間 午前9時~午後5時
入館は午後4時30分まで 会期中無休
入 館 料 一 般 250円(200円)
大学生 200円(160円)
高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金

半田半兵衛の鍔

半田半兵衛は、尾張荒子で前田利家に仕えた家臣です。天正十二年(一五八四)の末森合戦で、鍔場一番立ちを得、鉄砲傷を負いながらも、その功が賞賛されました。一時八千石を領しましたが、天正十七年(一五八九)、秀吉の関東征伐に際し、利家軍の母衣衆として出陣し、八王子にて戦死しました。半兵衛が使った鍔は、先祖の武勲として代々受け継がれてきました。

今回寄付いただいた鍔は、岸家寄贈資料の中の一つですが、岸家の母方の実家である半田家に伝来したものです。無銘ですが、外箱蓋裏に「半田半兵衛家江 先祖ヨリ代々傳之」と墨書があります。

企画展

れきはくコレクション2009

開催によせて

皆様から寄付いただいた資料を中心に、若干の購入資料を加えて「れきはくコレクション2009」を開催する運びとなりました。この紙面をお借りして、協力いただいた方に、改めてお礼申し上げます。

主な購入資料は、松尾芭蕉画像、芳春院かな書状、前田綱紀画像で、寄付資料は口絵で紹介した鑑の他に、旗指物、寿老人図、鉄道関係資料、金魚桶、花嫁暖簾などです。美術・歴史・民俗の各分野のバランスの良いコレクションとなりました。

なお、今回は平成三年に開催された石川国体の資料が寄付されましたことにあわせて、石川国体マスコットの「元氣くん」人形を同時に展示しますので、ぜひともご来館下さい。

関連事業

列品解説（事前申込不要）

二月二十八日（日） 資料課長 濱岡伸也

三月 十四日（日） 学芸主幹 本谷文雄

三月二十一日（日） 学芸員 塩崎久代

午後二時～二時三十分

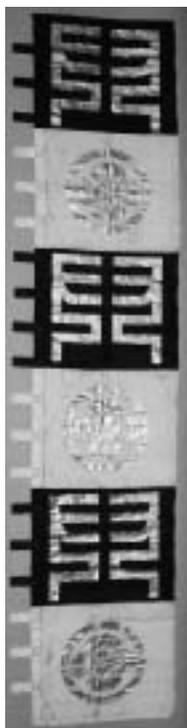
参加ご希望の方は入館料が必要です。

れきはくメイト会員は無料。必ず会員証を提示してください。

平成21年度収蔵資料一覧（平成21年2月～22年1月末現在）

資料名	点数	寄贈者（敬称略）
歴史資料		
近藤修氏収集鉄道資料	38	近藤 修
本西氏収集歴史資料	28	本西 武
太田南畝ら書幅	2	丸田ゆみ子
下安江村講関係資料	12	金子君江
加賀藩侍帳	1	松田房徳
市河米庵五言絶句書	1	松田房徳
市河米庵書	1	松田房徳
太田錦城七言律詩	1	松田房徳
太田錦城七言絶句書	1	松田房徳
レジスター	1	小林昭三
村本博氏歴史収集資料	11	村本 博
岸氏寄贈資料	258	岸 洋一
海防艦207号関係資料	3	島田一郎
石川国体関係資料	3	島田一郎
伝蓮如上人書額	1	松田房徳
市河米庵二行書	1	松田房徳
市河米庵二字額	1	松田房徳
鈴木大拙書幅	1	松田房徳
石川県観光地絵葉書	169	和泉富夫
檀並家資料	79	金谷雅俊
富樫家資料	233	金谷雅俊
屏風下張り古文書	1	金谷雅俊
押し屋用制服・帽子	2	近藤 修
古写真 七ツ屋町獅子舞	1	白尾佳美
一般用米穀類購入通帳	1	津田淑子
今村捨三家資料	97	今村は満子
御進物所木箱	1	今村は満子

資料名	点数	寄贈者（敬称略）
御印物箱	4	今村は満子
竹内家戦時関係資料	5	竹内郁子
山岳愛好四高生の映像フィルム	11	中山豪夫
収納米取扱印鑑	62	購入
九谷庄三・松島九兵衛肖像画	2	購入
松尾芭蕉画像（田中訥言画・成田蒼虬賛）	1	購入
絹本絹装（著色）前田綱紀公御尊影	1	購入
芳春院かな書状	1	購入
民俗資料		
天神堂	1	島田一郎
粹	3	安田光男
藁すぐり機	1	安田光男
金魚桶（金魚行商用）	2	濱名久司
カギ（金魚行商用）	14	濱名久司
カタネ棒（金魚行商用）	1	濱名久司
ハナピン（金魚行商用）	2	濱名久司
タモ（金魚行商用）	2	濱名久司
花嫁暖簾	1	津田淑子
蚊帳	1	津田淑子
ビー玉	247	津田淑子
紙メンコ	896	津田淑子
将棋駒	164	津田淑子
西谷家資料	33	西谷芳子
美術品		
龍図爛鍋	1	島田一郎
金谷雅俊氏寄附絵画資料	5	金谷雅俊
受け入れ資料	2,410	



旗指物(岸氏資料)



マエカケ(西谷家資料)



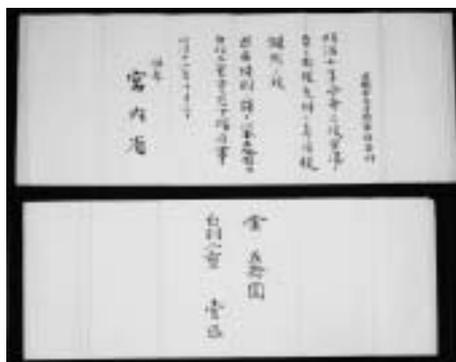
ハナピン(金魚行商用)



海防艦207号 模型



ヘッドマーク(近藤氏資料)



西南の役 褒章状ならびに目録(富樫家資料)



松尾芭蕉画像



寿老人図(金谷氏資料)



横山長知書状(今村捨三家資料)



芳春院かな書状

貸出中の館蔵品

他の施設でも見られる歴博の貴重資料

歴博の館蔵資料は総数約十六万点にも及びますが、その一部は、県内外を問わず、他館の展覧会に貸し出されるものが少なくありません。また放送局や出版社へのポシフィルムなどの貸し出しも、よく行われています。展覧会や催し物などに比べるとあまり知られていない業務ですが、これも博物館の重要な仕事のひとつなのです。

- ・「加賀藩江戸下屋敷絵図」
- ・「加賀様御行列附」
- ・「兼六園絵巻」
- ・「巽御殿絵巻」
- ・「白麻地小梅文様染繡帷子」
- ・「夜光の玉」

特別展「中山道板橋宿と加賀藩下屋敷」

二月十一日(木・祝)

三月二十二日(月・祝)

会場 板橋区立郷土資料館

(東京都・〇三 五九九八 〇〇八一)

企画展

「史料にみる武具・軍装」

前田土佐守家資料を中心に

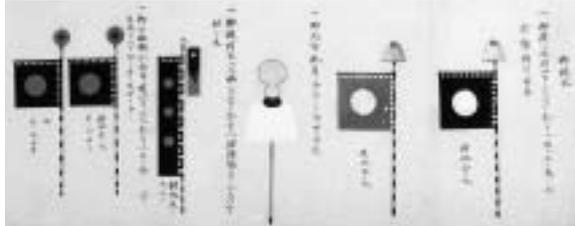
一月二十三日(土)

四月十一日(日)

会場 前田土佐守家資料館

(金沢市・〇七六 二三三 一五六一)

計三点



加陽御軍装



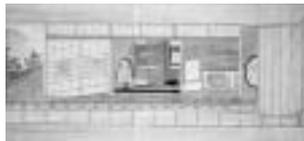
兼六園絵巻



夜光の玉



白麻地小梅文様染繡帷子



巽御殿絵巻



加賀様御行列附



加賀藩江戸下屋敷絵図

主な刊行物のご案内

石川県立歴史博物館展示案内

石川県立歴史博物館蔵品目録

冷泉家の歴史と文化

モダンな調へ 蓄音機

太子信仰と北陸 聖徳太子へのあこがれ

永光寺の名宝

紀尾井町事件 武士の近代と地域社会

うさぎワンダーランド

祝い絵 ディスフレイの民俗誌

能楽 加賀宝生の世界

利家とまつの子きた時代 戦い・くらし・女たち

景勝をめぐる いしかわの景観史

いしかわの歌仙絵馬

風俗画伯 巖如春 都市の記憶を描く

源平合戦と北陸 義経伝説を育んだふるさと

加賀百万石への道 戦国から太平へ

昭和ワンダーランド モノでたどる戦後

石川のお宝史 名宝から文化財へ

弥生ムラの風景 越のクニ生み・境界・交流

御用絵師梅田九栄と俳諧

肖像画にみる加賀藩の人々

春日懐紙

本願寺展 世界遺産の歴史と至宝

(税込定価)

一、〇〇〇円

三、五〇〇円

〇〇〇円

〇〇〇円

二〇〇円

二〇〇円

七〇〇円

七〇〇円

二〇〇円

二〇〇円

九〇〇円

二〇〇円

四〇〇円

四〇〇円

六〇〇円

二〇〇円

〇〇〇円

三〇〇円

二〇〇円

三〇〇円

四〇〇円

五〇〇円

五〇〇円

三〇〇円

三〇〇円



総合カウンターで販売中。定価はすべて税込。郵送ご希望の方は、当館へ直接お問い合わせいただくか、当館ホームページ「刊行物案内(図録等)」をご覧ください。(電話〇七六 二六二 三三三六)

第8回石川の歴史遺産セミナー開催

十一月五日、秋のバスツアーを実施。今回は「彦根城と近江の名刹を訪ねて」をテーマに四十名の皆様の参加を得て、錦秋の湖東へと足を運びました。彦根方面への旅は五年振りとなります。江戸時代に朝鮮通信使の宿泊所とされていた宗安寺をはじめ、彦根城博物館、彦根城、天寧寺、青岸寺を見学。訪問先ではそれぞれにご案内をいただき、大変充実した旅となりました。ここに現地でお世話下さいました関係の皆様へ、改めてお礼を申し上げます。



十二月八日、石川の歴史遺産セミナーを開催。今回のテーマは、「白山をめぐる今後の課題」。第一回から「白山」を共通課題

秋のバスツアー 彦根方面へ

十一月五日、秋のバスツアーを実施。今回は「彦根城と近江の名刹を訪ねて」をテーマに四十名の皆様の参加を得て、錦秋の湖東へと足を運びました。彦根方面への旅は五年振りとなります。江戸時代に朝鮮通信使の宿泊所とされていた宗安寺をはじめ、彦根城博物館、彦根城、天寧寺、青岸寺を見学。訪問先ではそれぞれにご案内をいただき、大変充実した旅となりました。ここに現地でお世話下さいました関係の皆様へ、改めてお礼を申し上げます。



催事日録

十月十五日、秋の歴史散歩を実施。今回のテーマは「尾張町界隈の近代建築をめぐる」で二十名の皆様が参加。尾張町には近代建築遺産が多く、ひと巡りするだけでも、日本近代建築の流れがよく分かります。旧高岡銀行橋場支店（現金沢文芸館）をはじめとす計七箇所を散策し、当館学芸員がご案内いたしました。

四十五日間に渡って開催された「本願寺展 世界遺産の歴史と至宝」が、十一月三日、盛況のうちに閉幕しました。真宗王国といわれる土地柄だけに、門徒の皆様をはじめ多数の来館者が予想されたため、職員も特別体制でお迎えしました。おかげをもちまして大きな混乱もなく、大変好評を博しました。お世話いただきました関係の皆様へ厚くお礼を申し上げます。



十月十五日、秋の歴史散歩を実施。今回のテーマは「尾張町界隈の近代建築をめぐる」で二十名の皆様が参加。尾張町には近代建築遺産が多く、ひと巡りするだけでも、日本近代建築の流れがよく分かります。旧高岡銀行橋場支店（現金沢文芸館）をはじめとす計七箇所を散策し、当館学芸員がご案内いたしました。



大盛況の本願寺展終了

尾張町界隈の近代建築めぐり

お知らせ
常設展示室
歴史体験コーナー 原始・古代編
4月3日(土)～7月7日(水)
楽しい歴史体験ができる人気コーナー。今回は原始・古代編に模様替えです。「土器や石器にふれてみよう」「飛鳥時代の衣服を着てみよう」「銅鑼を鳴らしてみよう」などなど、豊富なメニュー。みんなで原始・古代にタイムスリップ！
展示替え等による休館日(2～3月)
2月18日(木)～19日(金)
3月23日(火)～24日(水)



れきはくゼミナール



常設スポット講座

開講時間：午後2時
会場：常設スポット解説：第2展示室
れきはくゼミナール：学習ホール
受講料：無料 常設スポット解説は無料。ただし他の展示もあわせて観覧の場合は入館料が必要。
申し込み：不要 当日受付へお申し出下さい。

月日	行事	内容
2/20(土)	れきはくゼミナール	盆正月と山王祭 幻の城下祭礼 (学芸主査 大門 哲)
3/7(日)	常設スポット解説	幕末の加賀藩 (学芸員 塩崎久代)
3/20(土)	れきはくゼミナール	近世後期の金沢町人 (学芸員 塩崎久代)

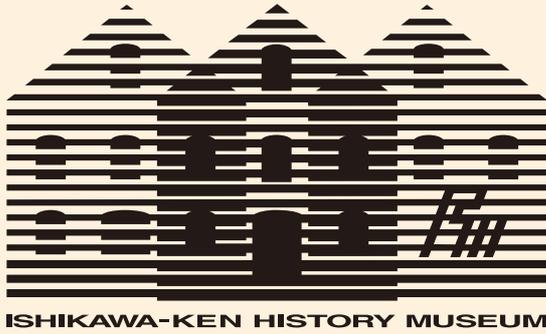
行事日録(2～3月)

れきはく
トリヴィア

シンボルマーク秘話

歴博のポスター、チラシ、刊行物、封筒、看板などに表示されているシンボルマークをご存知ですか。赤レンガ三棟が巧みに取り込まれてデザインされた、小さなマークです。

そもそもこのマーク、いつ頃から使われているのでしょうか。実はこれ、昭和六十三年に一般公募された作品の中から選ばれたものなのです。シンボルマーク公募(募集期間・昭和六十二年十二月八日～六十二年二月十四日)は、開館一周年記念事業の一つ。



ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM

シンボルマーク

応募にあたっては、石川県旗(昭和四十七年制定)で使われている石川のマークを入れるなどの条件を付きました。

さて募集開始当初は「応募数がわずかだったらどうしよう」と心配する声もありましたが、そうした不安も程なくして吹き飛びます。全国版公募情報誌に掲載されたおかげで、最終的に県外(十九都府県からの応募作六十一点を含めた、全一九六点もの作品が寄せられたのです。応募者の年齢層も十代から八十代までと幅広く、また県内高校生からの応募もたくさんあり、意外(?)な関心の高さに少し驚いたものです。

選考は当館で行い、満場一致で最優秀賞に選ばれたのは、金沢市の古田政樹さんによる作品。それは奇しくも募集締切日夕方に届いた、最終一九六番目の応募作品でした。

ちなみにこの時、別に設けられたスタンプ賞を受賞し、その後記念スタンプとして活用されることになった作品が四点あり、それらは現在でも休憩コーナーで活躍しています。

作者による制作コンセプトは「建物全体が資料的性格をもつ三棟の赤煉瓦建物そのものをモチーフとし、県民に親しみをPRする明るい造型をこころがけた。アカデミック性をもたせるため英語表記を用いた。」です。以来現在まで二十年以上の長きにわたり、歴博のシンボルとして親しまれているのです。

トリヴィア＝雑学的な事柄や知識、豆知識

平成二十二年度れきはくメイト 会 員 募 集!!

対象 なたでも入会できます。
期間 平成二十二年四月一日～平成二十三年三月三十一日(一年間)
会費 年額一、〇〇〇円
特典 広報誌「石川れきはく」、情報誌「れきはくメイト情報」ほか各種催し物案内が随時送付されます。また会員証の提示により、常設展の入場が無料(特別展開催時は団体料金)になるほか、「歴史散歩」や「バスツアー」など当館主催の各種行事に参加できます。詳しくはホームページをご覧ください。
入会受付 二月上旬より随時受け付けています。ご希望の方は申込用紙に所定事項をご記入の上、会費を添えて当館総合カウンターへ直接お申し込み下さい。郵送でお申し込みの場合は現金書留か定額小為替でお願いいたします。詳しくは当館普及課までお問い合わせ下さい。
申し込み・お問い合わせ先 当館普及課 〇七六 二六二 三四一七



バスツアー



会員証



歴史散歩

本多の茶林から

昨春秋より、第一棟二階にあつた歴史スポットコーナーが、第二棟一階の第四展示室の一角(歴史体験コーナー入口付近)へ移動しました。ここでは話題性のある資料、担当学芸員こだわりの資料などを、原則として一つの展示ケース、月替わりで紹介いたします。この部屋はベンチなどもあり、ゆったりとした雰囲気。新たに、解説会も展示に応じて開催していきたいと思っています。最新情報をお見逃しなく!